

安楽寺だより 第17号

〒105-0014 東京都港区芝1丁目12-18 電話：03-3451-1509 FAX：03-3798-2238

発行者：藤澤 克己（安楽寺住職） ホームページ：<http://www.anraku-ji.org/>

（安楽寺だよりは1月・4月・7月・10月の各15日に発行します）

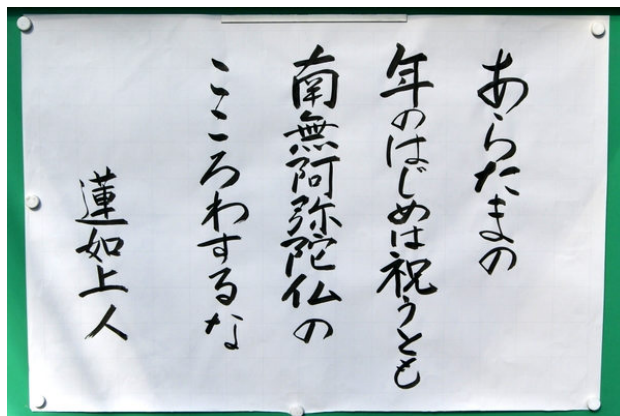
寒さが厳しいですので お大事に

平成26(2014)年という新しい年を迎えました。みなさま いかがお過ごしでしょうか。

今年の初日の出は見事でした。地平線の彼方に小さな光の点が現れたかと思うと、すぐに少しずつ大きくなり、清々しい光の束を届けてくれました。その光は優しさと凛とした厳しさを併せもっていて、自然と謙虚な気持ちになりました。



雲ひとつない 見事な初日の出
(多摩川河川敷にて)



お経（仏説無量寿経）には、阿弥陀さまの智慧の働きが「光」として示されています。仏さまが慈しみの心を、どんな人にも分け隔てなく振り向けてくださっていることを教えてください。

初日の出を見て感じた気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思います。



まだしばらくは寒さが厳しいようです。くれぐれも無理をなさらぬよう、お身体を大切にしてお過ごしください。

《あれこれ抄》

▼冬の「安楽寺だより」をお届けします。▼昨年の世相を表す漢字に「輪」という字が選ばれました▼東京にオリンピック（五輪）を招致できたことが大きな要因だったようですが、自然災害などで支援の「輪」が広がったことも理由に挙げられていました▼「おもてなし」も大切ですが、ご縁に感謝する「おかげさま」の「輪」も広げていきたいものです。▼年末に町内の夜警に初めて参加しました▼「火の用心、戸締り用心」と呼びかけながら芝一丁目界隈を見回りました▼もう「マッチ一本、火事の元」とは言わないのですね、時代の移り変りを感じます。▼おかげさまで寺の者はみな元気に新年を迎えることができました▼本年もどうぞよろしくお願いたします。

安楽寺報恩講をお勤めしました

11月10日、「報恩講」をお勤めしました。
 すべての人を救わずにはおれないという
 “阿弥陀さまの本願”を明らかにしてくだ
 された親鸞聖人のご恩に報謝する法要です。
 いつもお参りされる方だけでなく、久し
 ぶりの方や初めての方にもお参りいただき、
 一緒に「正信偈」(しょうしんげ)を唱えました。
 次に西原龍哉師(松戸市・天真寺副住職)
 にお取次ぎいただき、浄土真宗のみ教えを
 共々に味わわせていただきました。



かがみ ごえい
 親鸞聖人鏡の御影
 (西本願寺蔵、国宝)

親鸞聖人のご命日 と報恩講の日程

親鸞聖人のご命日は
 弘長2年11月28日、
 新暦では1263年1月
 16日です。
 祥月命日を縁とする
 法要が「報恩講」で、
 全国の浄土真宗各寺院
 で勤修されます。

安楽寺は毎年11月10日、築地本願寺は
 11月11～16日に、京都の本願寺では1月
 11～16日に、それぞれお勤めしています。

総追悼法要のご報告

12月23日(月・祝)に安楽寺総追悼法要を
 お勤めしました。この一年間に亡くなった
 方々の合同追悼法要として毎年12月中下旬
 に行っています。

2家族5名の方にご参列いただきました。
 浄土往生された方のお名前を尊前に奉告し、
 ありし日のお姿を偲びつつ一緒に「讃仏偈」
 (さんぶつげ)を唱えました。

法要後にはロビーで語り合う時間を持ち
 ました。亡くなった方との思い出を紹介し
 ていただくなど、それぞれに偲ぶ時間を過
 ごしていただけたことと思います。

【お経のお言葉】

※みなさんに知っていただきたいお言葉を紹介します。

和顔愛語

わげんあいご
 なごやかな笑顔とやさしい言葉

浄土真宗で最も大切にしている『仏説無量寿経』にある仏さまのお徳を示すお言葉です。
 私たちの生活においても、和やかな笑顔と愛情のこもったやさしい言葉が、接する人の
 気持ちをやわらげ元気にしてくれます。

忙しい毎日を送っていると笑顔を忘れてしまいがちです。大切な人がふさぎ込んでいる
 ときにこそ、「和顔愛語」で接することができたらいいですね。少しでも元気を取り戻し
 てくれば、こちら元気づけられ、「和顔愛語」の輪が広がっていくかもしれません。

年回法要(法事)のご案内

年回法要(法事)は亡き方のご命日を縁としてお勤めする「**仏法の行事**」です。

ご門徒のみなさまには2カ月前頃に連絡するようにしていますが、今年が年回忌に当たる方はご予約いただければと思います。

平成26年(2014)年回表

五十回忌	三十七回忌	三十三回忌	二十七回忌	二十三回忌	十七回忌	十三回忌	七回忌	三回忌	一周忌	年回忌
昭和40年	昭和53年	昭和57年	昭和63年	平成4年	平成10年	平成14年	平成20年	平成24年	平成25年	亡くなられた年

《大晦日の日の入りを見届けて》

2013年最後の夕陽が、澄みきった茜色の空から静かに沈んでいくのを見届けました。大晦日の日の入りを見ながら、ゆっくりと振り返る時間を持つことも時には大切だと感じました。



大晦日(12月31日)の日の入り

慌ただしく過ぎゆく時の流れに身を任せていたため、あっという間に一年が終わってしまったのかもしれないと自問しました。

仏法では「今」を大切にできるよう教えてください。自分にとって本当に大切なものが何なのかを見失わないように、時に立ち止ってじっくり「今」に集中すべきと示してくれているのではないのでしょうか。

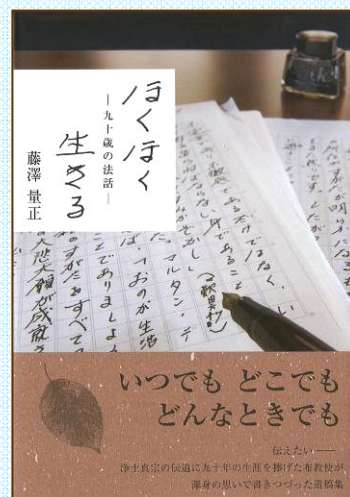


【書籍紹介】 (前住職の実兄の遺稿集です)

『ほくほく生きる -九十歳の法話-』

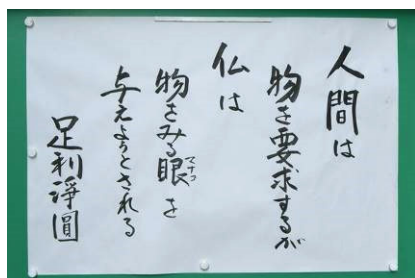
(本願寺出版社・藤澤量正著・800円+税)

布教伝道と執筆活動にとっても熱心な伯父でした。喉頭がん
で声を失うまで、安楽寺の本堂でもたびたびお話を聞かせて
くれました。お念仏のみ教えをいただくありがたさは
「いつでも どこでも どんなときでも」よろこびが感じら
れる身になることだと、いつも語っていました。温もりの
ある言葉が心に響く一冊です。

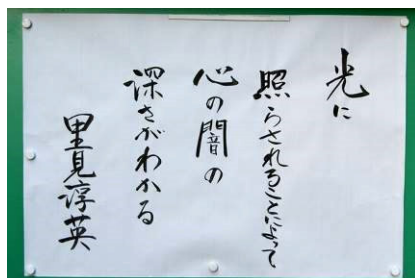


月々の言葉 ～安楽寺 伝道掲示板から～

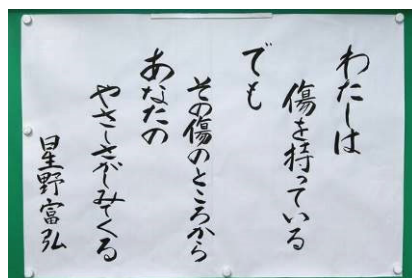
お寺の入り口に、その時々のお寺の言葉を掲げています。(1か月毎)



2013年11月



2013年12月



2014年1月

「定例法話会」のご案内

毎月第3日曜日の午後3時～、定期的に法話会を開催しています。月々の掲示板の言葉をヒントに、お釈迦さまのお話や浄土真宗のみ教えをともに学びましょう。

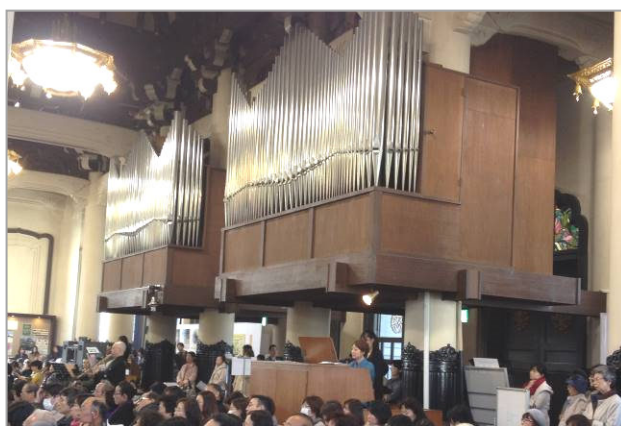
【定例法話会の今後の予定】

よろしければいつでもご参加ください

1月19日(日) 午後3時～

2月16日(日) 午後3時～

3月16日(日) 午後3時～



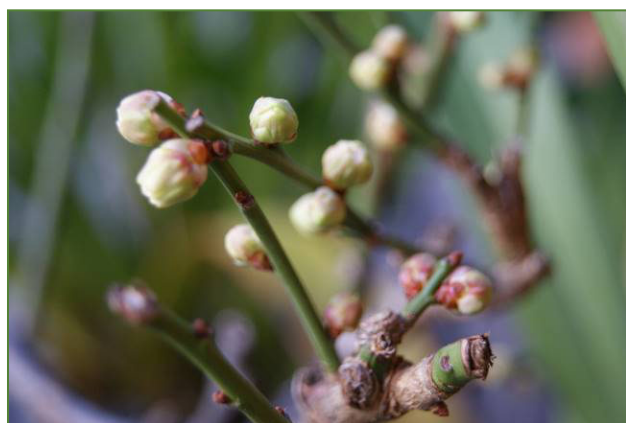
お寺(築地本願寺)でパイプオルガン♪

築地本願寺の本堂後方には大小約2000本のパイプ(笛)で構成される本格的なパイプオルガンが設置されています。

毎月最終(金)のお昼(12:20～12:50)にランチタイムコンサートが開催されており、入場無料でどなたでも参加できます。

(当面の予定は1/31、2/28、3/28)

繊細で荘厳な音色が堪能でき、親しみある曲が奏でられますのできっと楽しめると思います。ぜひスケジュールを合わせて、築地本願寺にもお出かけください。



「春の彼岸会法要」のお知らせ：3月21日(金)

来たる3月21日(金)は春のお彼岸のお中日です。午後1時から本堂にて「正信偈」をお勤めし、引き続いて「正信偈」のお言葉を「読み・聞き・味わう」時間を持ちます。どうぞお誘い合わせの上、みなさんでお参りください。お待ちしております。